

場面④隅田川

文21 ①なほ②行き行きて、武蔵の国
と下総の国との中に、③いと④
大きな川あり。

問一 武蔵の国・下総の国は今なら
どのあたりか？

武蔵の国

ア神奈川・東京・埼玉
イ千葉・茨城

下総の国

ア神奈川・東京・埼玉
イ千葉・茨城

文21 ①なほ ②行き行きて、武蔵の国
と下総の国との中に、③いと④
大きなる川あり。

問二 「なほ」には次の六つの訳がある。傍線部①はどの訳が適切か。

アまだ 「風波止やまねば、なほ同じ所にあり」

イやはり 「和歌こそ、なほをかしきものなれ」

ウでさえ 「死馬なほ之を買ふ。」

エ同様に 「なほ惑ふ人あり。」
※「すら且つ」と同じ意味

※惑ふ＝道に迷う

オさらに 「あづま路の道のはてよりも、なほ奥つ方」

カまるで 「なほ夢のごとし。」

※下に「ごとし」があるときのみ

問三 傍線部③の訳は？

アわずかに イある程度 ウとても

文21 ①なほ②行き行きて、武蔵の国
と下総の国との中に、③いと④
大きなる川あり。

問四 傍線部④は次のどちらか。

ア 形容動詞「大きなり」の連体形
イ 名詞「大き」

＋断定の助動詞「なり」の連体形

※形容動詞の場合は上に**程度を表す**
言葉がつけられる。

○いと静かなり

↓形容動詞

×いと王なり

↓名詞＋断定の助動詞「なり」

このページは空白ページです